十二　農業行政費	農家数	1　密度補正Ⅰに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $(0.231 \times B) / A$ 算式の符号 ［略］ B　引受戸数（令和２年度から令和４年度までの引受戸数の計を３で除して得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。ただし、令和４年度の引受戸数が０の場合は０とする。）） ［２　略］ 3　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下四位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $(0.0675 \times \alpha + 0.0431 \times \beta + 0.0061 \times \gamma) / A$ ［略］ ［４・５　略］ 6　密度補正Ⅲに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $\dfrac{48 \times \alpha}{90{,}500 \times A}$ ［略］ ［７　略］ 1　密度補正Ⅰに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $(B \times 0.048) / A$ ［略］ ［２　略］ 3　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。
十三　林野水産行政費	林業及び水産業の従業者数	

十二　農業行政費	農家数	1　密度補正Ⅰに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $(0.223 \times B) / A$ 算式の符号 ［同左］ B　引受戸数（令和元年度から令和３年度までの引受戸数の計を３で除して得た数（整数未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。ただし、令和３年度の引受戸数が０の場合は０とする。）） ［２　同上］ 3　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下四位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $(0.0650 \times \alpha + 0.0415 \times \beta + 0.0059 \times \gamma) / A$ ［同左］ ［４・５　同上］ 6　密度補正Ⅲに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $\dfrac{49 \times \alpha}{93{,}800 \times A}$ ［同左］ ［７　同上］ 1　密度補正Ⅰに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。 算式 $(B \times 0.056) / A$ ［同左］ ［２　同上］ 3　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。
十三　林野水産行政費	林業及び水産業の従業者数	